

龍江のリニア残土 盛土計画を考える

第6回 講演会 開催概要

R3.3.13 Sat. 13:30~ 龍江公民館大会議室・42名受講

飯田市美術博物館 専門研究員の

村松武先生から盛土計画の是非についてご講演いただきました

地形や地質構造の研究をもとに、谷を埋める計画を考察され、**危険性**について詳しく解説してくださいました

有意義なご講演に心から感謝申し上げます
講演後も、会員の会で松島信幸先生と共にご助言頂きました

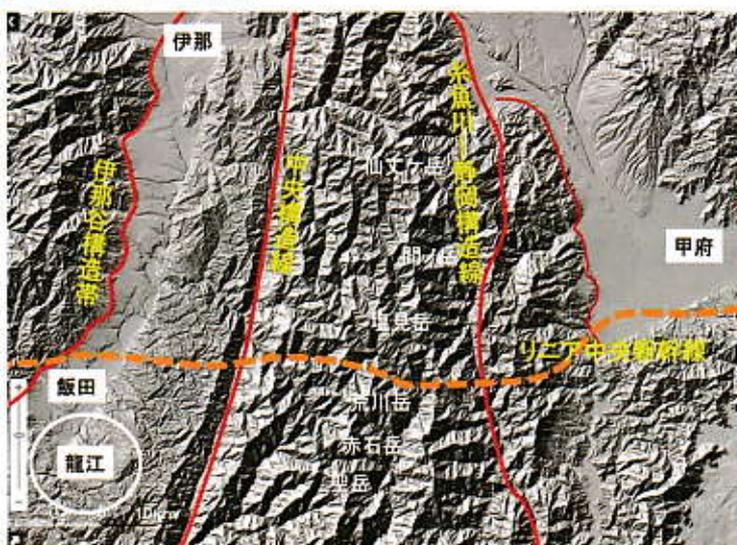
先生は、南アルプス世界自然遺産登録連絡協議会の学術調査検討委員会の委員として、中央新幹線整備計画の環境影響評価方法書や準備書に対し、残土処分の方法等について意見書を提出されています (JRの回答は具体的な根拠に乏しく納得できない)

108枚のスライドで2時間解説

2021.3.13 龍江の盛土を考える学習会

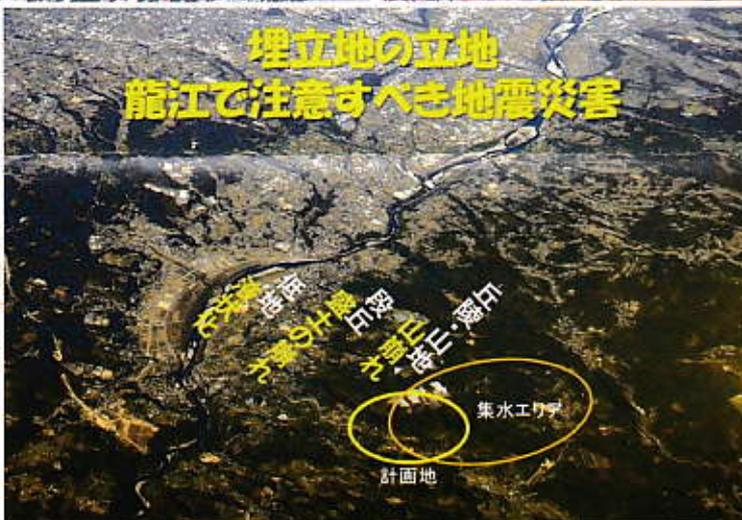
龍江のリニア残土盛土計画を考える

- ・はじめに
リニア中央新幹線の事業化から現在南アルプスへのリニア残土埋立て計画
下久堅のリニア残土埋立て計画
- ・さまざまな残土埋立地・鉱滓ダムなど
その他のトンネル残土埋立地
ブラジルの鉱滓ダム決壊事故
- ・自然に埋まった天然ダム(せき止めダム)
2004中越地震でできた二つの天然ダム
- ・龍江番入寺西の地形と残土埋立計画
集落の広がる段丘とその背後の丘陵地
風化した丘陵地に刻まれた多数の谷



評価書資料編に示された建設発生土

180万m ³ のトンネル発生土 (180m×100m×100mの土量)
下久堅小林: 20
龍江番入寺: 40
下條村睦沢: 120(万m ³)
2017年11月年度毎日新聞



工事説明会資料(2017年12月)

本来なら発生土置き場が決まってから運搬計画ができるはずなのだが



- 流域を歩いて感じたこと
- 里山の緑と水、美しい棚田
 - 人工改変地と耕作放棄地
 - 予定地は浸食が盛んな場所
 - 安全安心の環境をどう守る
 - 地域の未来をどう描くか

谷を埋める計画は、「せき止めダム」と同じ断層に囲まれたもろい地盤
浸食の激しい谷への盛土は禁物

候補地の選定経過も疑問
地域でしっかり考えることが重要

国家的巨大プロジェクトは止まらない
声が届かないと確実に計画が進行する

最後にひとこと

- * 大切なものを失うリスクを考えて!
- * 基準や技術で不安が払拭できるの?
- * 発生土置き場は迷惑施設(nimby)!
- * 下久堅は再検討しないと気がかり!

候補地計画の 取り下げを要望

私たちは、住民有志の会として発足から1年半にわたり「川を埋める盛土が本当に大丈夫？」といった疑問について、各分野の先生方を交え慎重に検討して参りました。

6回に及ぶ学習会ごとに明確な危険性が指摘されたことから、候補地として不相当と判断し、地域の皆様からお寄せ頂いたご意向をもとに誘致計画の取り下げを要望させていただきました。

写

令和3年(2021年)3月30日

東海旅客鉄道(株)中央新幹線長野工事事務所長 様
飯田市長 様
龍江地域づくり委員会 様
龍江地区JR埋め土対策委員会 様
地元選出飯田市議会議員 様

龍江の盛土を考える会
会員一同

中央新幹線建設に伴う発生土置き場 番入寺西候補地計画の取り下げについて

貴職におかれましては、日頃より当会の活動をご理解頂き心から感謝申し上げます。

さて、当会はこの残土処分計画を有識者とともに評価して参りましたが、広大な集水域をもつ土石流危険渓流を埋め尽くす造成計画は、危険性が極めて高く人命に係る重大なリスクが想定されることから容認できません。

また、今後の事業展開にあたり関係者（地権者及び流域住民）の同意も得られないことから、早急に候補地計画を解消されるようお願い申し上げます。

なお、この要望は地域住民とともに安全性への知識を深め、検討した結果であることを申し添えます。

私たちは、いわゆる“反対勢力”ではなく龍江地域の将来のために
安全安心で持続可能な地域づくりの観点から、賛否を問わず地域の皆様とともに学び
候補地としての妥当性についてみんなで考えて参りました

詳細な検討結果をもとに、候補地計画の再考を要望してきましたが、原点に戻り議論し合意形成を図ることが大切であったと考えます

造成後の利活用を模索することや農免道路の改良、経済効果を望む以前に、地域の安全安心が大前提です。危険な盛土によらない地域づくりが大切です

『龍江の盛土を考える会』

会 長：林 平 吉 副会長：林 宗 吉・小木曾悦人
ほか役員・会員一同

地域の皆様には、龍江の盛土計画と一緒に考えてくださいます様誠にありがとうございます
当会へのご意見ご助言、ご支援に対しまして心から厚く御礼申し上げます